ワイ<mark>ヤロープの</mark>概要

1 特 長

ワイヤロープ(以下,ロープと呼称)は素線を数多く組合せた複雑な構造を有しており、その選択や使用に当たっては、ロープの特長を知ることが大切です。ロープの特長としては、一般の鉄鋼二次製品に比べて、

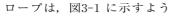
- ①引張強度が高い。
- ②耐衝撃性に優れている。
- ③長尺物が得られる(運搬,輸送が容易)。
- ④柔軟性に富む (取扱いが容易)。

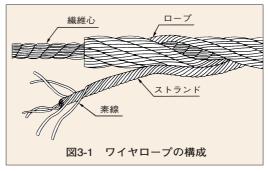
などが挙げられます。

一方、用途によっては、①弾性係数が低い(伸びが大きい)、②自転性があるなどが欠点となる場合もありますが、①に対してはプレテンション加工(14,50ページ参照)、②に対しては非自転性ロープ(85ページ参照)を採用するなどの対応策がとられます。

2 構 成

ロープの構成は、ストランド の数と形、ストランド中の素線 の数と配置、繊維心入りか、ロー プ心入りかなどによって変化し ますが、ここでは一般的なロー プの構成について説明します。





に数本~数10本の素線を単層又は多層により合わせたストランドを,通常は6本を心綱の周りに所定のピッチでより合わせて作られています。

3 ストランドの数

ロープは、通常 $3 \sim 9$ 本のストランドがより合わされていますが、特別の場合のほかは構造的にバランスのとれた 6 ストランドがほとんどです。ただし、エレベータ用のように、特に柔軟性を要求される場合には 8 ストランド,また非自転性を要求される場合には,ストランドを 2 層以上とすることもあります。